

1. 発見日時	令和7年(2025年)8月18日(月)11:00
2. 発生海域名	標津町 標津漁港
3. 発生状況 (規模、形状等)	標津漁港北側の一部の海面が着色。 水色：はいみのあか
4. 優占種	<i>Prorocentrum micans</i> (プロロセントラム・ミカンス) 50,100細胞/mL
5. その他	水温・塩分・クロロフィルa濃度：21.6°C・32.4・39μg/L 透明度：0.6m 本種は魚介類の斃死を直接引き起こす有害なプランクトンではない。ただし夏～秋の高水温期の赤潮は、死骸の分解等で一時的に海中の溶存酸素濃度を低下させる可能性がある。閉鎖性の強い内湾域で静穏な海況が継続する場合には注意が必要である。 <i>Prorocentrum</i> 属のいくつかの種は、摂餌を通して二枚貝を赤茶色に変色させる原因種として日本国内での報告があるため、二枚貝の漁場・養殖場では留意する必要がある。なお、着色した二枚貝を人が食しても人体に影響はない。

6. 参考図



図1 赤潮発生場所の位置

地理院地図(国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道作成



図2 海水呈色状況

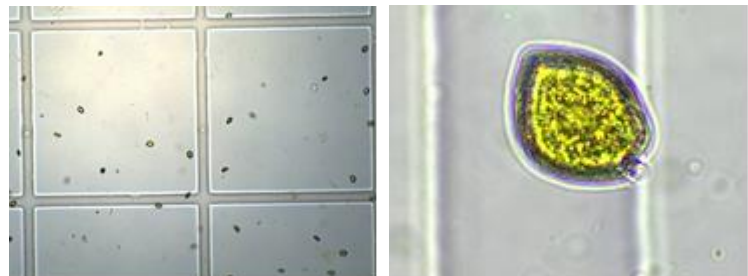


図3 優占種 *Prorocentrum micans*